

ミニビブリオバトルをしよう

教科書出版社名（ 教育出版 ）

○ 小学校（ 3～6 ）年 教科等（ 国語 ）

○ 「自ら学ぶ子どもの育成」に向けて、この単元で付けたい力

- ・目的意識をもって本を選び、本のよさを伝える表現力。
- ・主体的に学ぶ力につながる学習活動。

○ 学校図書館活用のポイント

- ・分類法、作者名、作品名で本が整頓されていることを伝えることで、たくさんある本の中から、自分が読んでみたい本を探せるようにする。
- ・本の帯や POP などにつけることで、本に対する興味関心をもつ。
- ・多くの本がある図書館で、本に関する知識がある司書とともに活動することで、子どもたちが様々な本と新たに出会うことが期待できる。

○ 学習の展開（全6時間）

第1次 課題をつかむ	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が好きな本のよさを、友だちの前で発表する。 ・物語の本の中から、友だちにそのよさを伝えたいような本を探す。
第2次 調べ、まとめる	<ul style="list-style-type: none"> ・選んだ本のよさを、要点2～3点にしぼる。 ・友だちが読みたくなるような本の紹介の仕方を意識しながら、まとめる。
第3次 発表し、深める	<ul style="list-style-type: none"> ・本のよさを、2分で紹介する。 ・質疑応答の時間をとり、本のよさについて交流する。 ・今日のチャンプ本を認定する。

【取組みを終えて】

○ 学校図書館を活用した学習における成果と課題

① 成果	<ul style="list-style-type: none">・子どもたちが、多くの本と出会うことができた。・本のよさやさらに詳しく聞きたいこと等について、意見の交流ができた。・回数を重ねることで、聞き手の気持ちを引き付ける表現方法について、工夫を加える子どもが増えた。
② 課題	<ul style="list-style-type: none">・人気のシリーズ本を紹介すると、本の中身だけでなく、タイトルを聞いただけでその本に意識が向く子どもがいる。・プレゼン内容よりも、発表したひとの人柄に左右されることもある。
③ 児童の感想・ふりかえり	<ul style="list-style-type: none">・同じ作者の別の本も読みたくなった。・シリーズ本になっていると聞いたので、同じシリーズの別の本も読みたくなった。・一度読んだことがあったけど、もう一回読みたくなった。

○ 学校図書館を活用した際に注意した点や学習の中で工夫した点について

<ul style="list-style-type: none">・学校図書館での活動は学習活動の一環であり、ただ単に好きな本を読む場ではない、という意識の徹底。・自分で本を探せる子どもを育てるために、分類法、作者名、作品名による陳列に着目させたこと。
--